



鳴門教育大学に於ける プレゼンテーション実施報告

2014年6月9日、徳島県鳴門市にある鳴門教育大学にて、2つのプレゼンテーションを実施しました。

国際教育コース大学院生を中心とした18名の学生や教職員の皆さんに対する発表タイトルは、「日本の教育経験を他国の教育に生かすことはできるか」でした。発表者のこれまでの開発途上国における教育支援（特に学校運営管理や小学校算数教育）の経験をもとに、参加者の経験や学校の在り方についての考えも交えながら、教育支援の課題などを話し合いました。



留学生7名はラオス、台湾、ブラジル、ホンジュラス、エルサルバドルから来られています。発表者の広島市小学校教諭としての経験をもとに、「日本における教員採用と現職教員研修」について紹介しました。その後それぞれの国の事情を情報交換しましたが、現職教員の指定研修、その時間確保や内容、指導者について、また、校外研修時（留守中）の担任学級へのサポート、校長や教頭の任命・任期についてなど、活発な質問が出て、関心の高さがうかがわれました。



(文責：社会開発部 船木)